

長野県屋代高等学校の生徒さんと段ボールベッドの意見交換会を開催

2024年11月27日に長野県屋代高等学校の生徒さんが当社松本事業所へ来所いただき、課題研究として取り組んでおられる「段ボールベッド」について、意見交換会を開催しました。

長野県屋代高等学校ではSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業^{※1}に取り組んでおり、その研究課題として「簡易ベッドの作成～折り紙テクノロジーを用いて～」というテーマで段ボールベッドの研究を行っています。生徒さんたちは近年、国内や海外において自然災害が増加している中、ストレスや生活環境の悪化が原因とされる災害関連死が直接死者数を超えている現状を問題と捉え、災害用ベッドを開発することで救えたはずの命を救えるのではないかと強く思い、研究をスタートしたそうです。

※1：スーパーサイエンスハイスクールとは文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度

意見交換のきっかけは、生徒の皆さんが幾つかの試作品を制作しその中で行き詰まってしまったため、当社から意見を聞きたいとホームページへ連絡いただいたことでした。



研究のヒントになればと品質試験などを含めた段ボールの工場見学もしていただきました。皆さん熱心に説明に耳を傾け、写真やメモをとる姿を見ていつか彼らが災害関連死を改善する「段ボールベッド」を完成させると日がくると確信しました。当社はこれからも研究活動をサポートしていきます。